

始業式・入学式

4月は出会いの季節です。本日、平成28年度の始業式・就任式で次のような挨拶をしました。

就任式では「今日、縁あって赴任なされた16名の先生方と皆さん一人一人の出会いを大切にしてください。ここで、江戸時代、徳川家の剣術指南役を担ってきた柳生家の家訓『小才は縁に出会って、縁に気づかず。中才は縁に気づいて縁を生かせず。大才は袖ふれあう縁をも生かす』とあるように、関わった縁を大切に、そして生かしてください」と紹介しました。

そして、始業式では『生かされている命』として、決して自らを見限ることなく、あきらめることなく与えられた高校生活を精一杯勉強に部活動に頑張りたい」と71年前の沖縄戦と5年前の東日本大震災で罹災した方々のことを例に話をしました。さらに「私のこの1年間の夢は正門横のフェンスを端から端まで君たちの活躍の証である横断幕でいっぱいにする」と表明しました。

午後は第34回の入学式を行いました。不安と期待が入り交じるなかで、240名の新入生が目を輝かせて入学式に臨んでいました。ご臨席頂いた保護者の方々のまなざしの向こうには、若干緊張した面持ちの我が子の姿があり、式辞を述べる前に「今の気持ちは期待と不安が入り交じった複雑な気持ちでしょう。皆さんの入学を心待ちにしていました」と話させていただきました。

そして式辞では「これから始まる貴重な3年間を常に感謝の心を忘れることなく、有意義に過ごして欲しいこと、色々なことにチャレンジして、高校生活を十分に楽しみ、学問と部活動に燃えて下さい」と私の思いを述べました。

新入生代表の上原完太君の挨拶は「・・・今日から始まる新しい生活に仲間達と切磋琢磨し、今まで関わった全ての人に感謝し、3年間をこの具志川高校で過ごします。・・・」感動的なスピーチでした。



また、安次富なみさんから「具志川高校のきまりを守り高校生として精一杯がんばる」という気持ちの入った誓いの言葉を頂きました。とても素晴らしい入学式でした。

今年度赴任をさせていただいた私も新たに高校に入学した気分です。全校生徒全職員とともに「チャレンジG高」をフラッグシップに頑張っていきます。



校長 渡久山英雅